

(様式第9)

番 号
平成21年10月1日

厚生労働大臣

殿

開設者名 学校法人 聖マリアナ
理事長 明石 康

聖マリアナ医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告
記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	59人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	470人	3.9人	473.9人	看護業務補助	42人	診療エックス線技師	人
歯科医師	人	人	人	理学療法士	18人	臨床検査技師	94人
薬剤師	69人	人	人	作業療法士	7人	衛生検査技師	人
保健師	63人	人	人	視能訓練士	8人	その他	人
助産師	17人	2.1人	19.1人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	820人	29.3人	849.3人	臨床工学技士	20人	医療社会事業従事者	7人
准看護師	2人	人	2.0人	栄養士	2人	その他の技術員	28人
歯科衛生士	人	人	人	歯科技工士	人	事務職員	154人
管理栄養士	10人	人	10.0人	診療放射線技師	63人	その他の職員	2人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	860.26人	人	860.26人
1日当たり平均外来患者数	2,356.09人	人	2,356.09人
1日当たり平均調剤数	1468.1剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	5人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、膵動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラレーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はヒオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類 I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治療切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第七十六号)の「(i) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは白蓋骨折に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	123人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	226人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	295人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	23人
・多発性硬化症	126人	・ウェグナー肉芽腫症	44人
・重症筋無力症	159人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	26人
・全身性エリテマトーデス	2143人	・多系統萎縮症	33人
・スモン	3人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人
・再生不良性貧血	221人	・膿疱性乾癬	15人
・サルコイドーシス	184人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・筋萎縮性側索硬化症	32人	・原発性胆汁性肝硬変	472人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	575人	・重症急性膵炎	22人
・特発性血小板減少性紫斑病	130人	・特発性大腿骨頭壊死症	69人
・結節性動脈周囲炎	111人	・混合性結合組織病	224人
・潰瘍性大腸炎	353人	・原発性免疫不全症候群	3人
・大動脈炎症候群	37人	・特発性間質性肺炎	21人
・ビュルガー病	271人	・網膜色素変性症	75人
・天疱瘡	78人	・プリオン病	2人
・脊髄小脳変性症	142人	・原発性肺高血圧症	29人
・クローン病	96人	・神経線維腫症	11人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	4人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	101人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・パーキンソン病関連疾患	510人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	14人
・アミロイドーシス	170人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	0人
・後縦靭帯骨化症	87人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	2人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	<p>① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。</p>		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	病理診断：手術材料検討会 週1回、乳腺検討会 月1回、婦人科合同カンファレンス 月1回、腎臓病カンファレンス 月2回、骨軟部腫瘍カンファレンス 2ヶ月1回、剖検CPC 年3回、臨床検査：症例検討会 月1回、乳腺, 小児, 循環器 各々のカンファレンス 週1回		
剖検の状況	剖検症例数	62 例	剖検率 10 %

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託先
BRCA1 ユビキチンリガーゼによる乳癌抑制機構の解析	太田 智彦	外科学(乳腺・内分泌外科)	3,200,000	補委 文部科学省
HERC2 による S 期および G2/M 期チェックポイント制御機構の解析	太田 智彦	外科学(乳腺・内分泌外科)	3,200,000	補委 文部科学省
SSRI により活性化される AKT によりリン酸化される転写因子の同定とクローニング	御園生 篤志	神経精神科学	1,600,000	補委 文部科学省
Orn1 複合体の解析による肝細胞癌発癌機構およびその治療法の解明	榎本 武治	外科学(消化器・一般外科)	1,500,000	補委 文部科学省
糖尿病に於けるアペリン APJ 系機能解析(糖尿病性腎症の増悪因子か?)	村尾 命	内科学(腎臓・高血圧内科)	1,800,000	補委 文部科学省
アンドロゲン環境が膀胱機能に及ぼす影響:平滑筋収縮に関わる因子を指標とした検討	中澤 龍斗	泌尿器科学	1,700,000	補委 文部科学省
TNF- α 誘発視神経障害における軸索輸送物質とマイクログリアの分子生物学的関係	北岡 康史	眼科学	2,000,000	補委 文部科学省
アネキシン 7 を中心とした関節リウマチ病態と治療法の研究-プロテオミクス応用-	加藤 智啓	生化学	4,700,000	補委 (独)日本学術振興会
生活習慣病予防のための食事、運動指導の具体的な効果の解明とその科学的根拠の確立	田中 逸	内科学(代謝・内分泌内科)	800,000	補委 (独)日本学術振興会
胚性幹細胞から分化誘導した網膜神経節細胞の移植による緑内障の治療	黒川 真奈絵	生化学	600,000	補委 (独)日本学術振興会
末梢血のリサイクルによる新たな肝不全治療法の確立	松本 伸行	内科学(消化器・肝臓内科)	1,400,000	補委 (独)日本学術振興会
間欠的虚血ストレスをターゲットとした腎疾患治療薬の開発-脂肪酸結合蛋白に注目して	木村 健二郎	内科学(腎臓・高血圧内科)	500,000	補委 (独)日本学術振興会
HMGB 蛋白質とその自己抗体の生理的ならびに病理的意義の基礎解析	尾崎 承一	内科学(リ・膠・ア内科)	1,600,000	補委 (独)日本学術振興会
骨・軟骨再生医療に向けた高分子の自己組織化による再生医療用ナノ構造材料の創製	遊道 和雄	難病治療研究センター	1,700,000	補委 (独)日本学術振興会
siRNA 及びアンチセンスオリゴヌクレオチドの視神経変性疾患への適応	上野 聰樹	眼科学	1,400,000	補委 (独)日本学術振興会
気流制限における気管支鏡下カテーテル法による気道内圧測定	宮澤 輝臣	内科学(呼吸器・感染症内科)	1,200,000	補委 (独)日本学術振興会
メラノサイト及びメラノーマ細胞における BMP と Kit、Mitf との相互関係	川上 民裕	皮膚科学	1,700,000	補委 (独)日本学術振興会
統合失調症患者に長期併用投与された抗コリン薬の減量中止に関する研究	宮本 聖也	神経精神科学	1,300,000	補委 (独)日本学術振興会
新規抗うつ薬結合蛋白質の Dynamin-1 過剰発現マウスの抗うつ薬投与後の行動解析	長田 賢一	神経精神科学	1,500,000	補委 (独)日本学術振興会
Basal-like 乳癌の術前化学療法における DNA 損傷応答の解析	太田 智彦	外科学(乳腺・内分泌外科)	1,300,000	補委 (独)日本学術振興会
親子の骨強化啓発活動の研究(骨粗鬆症の一次予防の骨量測定・栄養指導は必要か)	清水 弘之	整形外科	300,000	補委 (独)日本学術振興会
卵巣組織移植に関する基礎的研究-若年女性がんと患者の生活の質向上を志向して	鈴木 直	産婦人科学(婦人科)	2,000,000	補委 (独)日本学術振興会
糖脂質とトランスポーターの発現を指標にした卵巣癌の抗癌剤治療の適正化	木口 一成	産婦人科学(婦人科)	1,400,000	補委 (独)日本学術振興会
新規めまいリハビリテーションの開発を目的とした基礎研究	肥塚 泉	耳鼻咽喉科学	2,800,000	補委 (独)日本学術振興会
羊胎仔尿路閉塞による胎児治療は多嚢胞性異形成腎の発生分子に影響をあたえるか?	北川 博昭	外科学(小児外科)	1,300,000	補委 (独)日本学術振興会
色素性皮膚疾患の胚性医療学的インターベンション	熊谷 憲夫	形成外科学	1,900,000	補委 (独)日本学術振興会

敗血症に伴う重症末梢神経炎の発生機序の解明— 第 X 因子阻害薬の保護効果の検討—	日野 博文	麻酔学	900,000	審 委	(独)日本学術振 興会
新規抗うつ薬結合蛋白質過剰発現マウスのストレ ス耐性とうつ病モデル動物の検討	朝倉 幹雄	神経精神科学	1,100,000	審 委	(独)日本学術振 興会
Medical Mass Imaging:質量分析による脱抗体組 織イメージング	加藤 智啓	生化学(生化学)	1,300,000	審 委	(独)日本学術振 興会
肝細胞癌発癌動物モデルを用いた遺伝子メチル化 網羅的解析	奥瀬 千晃	内科学(消化器・肝臓内科)	2,800,000	審 委	(独)日本学術振 興会
筋ジストロフィー症の新規治療法としての霊長類胚 性幹細胞由来筋細胞の移植応用	鈴木 登	免疫学・病害動物学	2,000,000	審 委	(独)日本学術振 興会
超音波画像のコンピューター解析に基づく新しい肺癌 診断法の開発	多賀谷 理恵	外科学(呼吸器外科)	920,000	審 委	(独)日本学術振 興会

計 32 件

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Visual Neuroscience 2008 25P197~208	Effects of unoprostone on phosphorylated extracellular signal-regulated kinase expression in endothelin-1-induced retinal and optic nerve damage	Y.Munemasa	眼科学
Hepato-Gastroenterology 2008 55 (3-4) P687-691	Second Surgery after a Pancreaticoduodenectomy in Patients with Periapillary Malignancies	Hiroshi Nakano	外科学 (消化器・一般外科)
小児外科 2008 vol.40 no.7 p.768-774	Down症児の新生児期手術と周術期管理	川瀬弘一	外科学 (小児外科)
Journal of Pediatric Surgery 2008 vol.43 p2250-2255	Can a pressure-limited vesico-amniotic shunt tube preserve normal bladder function?	Aoba T	外科学 (小児外科)
産科と婦人科 2008 vol.75 no.9 p1080-1083	2. 閉塞性尿路疾患	北川博昭	外科学 (小児外科)
小児外科 2008 vol.40 no.12 p.1328-1332	腸回転異常症根治手術時の虫垂切除	北川博昭	外科学 (小児外科)
小児外科 2009 vol.41 no.3 p.298-303	追加切除を施行した難治性nesidioblastosis	北川博昭	外科学 (小児外科)
RespirationResearch Clinical ChestUltrasound From the ICU to the Bronchoscopy Suite	State-of-the-ArtEquipmentandProcedure	栗本典昭	外科学(呼吸器外科)
RespirationResearchClinical ChestUltrasound From the ICU to the Bronchoscopy Suite	EndobronchialUltrasonography for Peripheral PulmonaryLesion	栗本典昭	外科学(呼吸器外科)
Journal Bronchol 2008 15:134-138	Targeting Area in Metastatic Lymph Nodes in Lung Cancer for Endobronchial Ultrasonography-guided Transbronchial Needle Aspiration	長田博昭	外科学(呼吸器外科)
Journal of Orthopaedic Sciene 2008 13P.405-412	Correlation of bone status in mothers and daughters and the improvement of bone statue	R.Yoneyama	整形外科科学
Hand Surgery 2008 13(2)P.85-91	Anatomical study of Arthroscopic Surgery for Lateral Epicondylitis	R.Ando	整形外科科学
肝臓 2008 49・P.430-439	画像所見が経時的変化を示した細胆管細胞癌の1例	伊澤直樹	内科学(消化器・肝臓内科)
日本消化器病学会雑誌 2008 105・P.1656-1665	癌細胞の多様性からみた退形成性腺癌の2例	岡本賢	内科学(消化器・肝臓内科)
消化器科 2008 47・P.563-569	【肝機能・肝予備力の新しい評価法と対策】Xenon CTを用いた肝組織血流量の評価による肝硬変の病期診断	高橋秀明	内科学(消化器・肝臓内科)
肝臓 2008 49・P.495-500	ベグインターフェロン・リバビリン72週併用療法後の再燃に対し、インターフェロン単独療法を追加にて著効を得たC型慢性肝炎の1例	奥瀬千晃	内科学(消化器・肝臓内科)
肝臓 2008 49・P.520-523	C型慢性肝炎に対するベグインターフェロン・リバビリン併用療法におけるインターフェロン網膜症の検討	奥瀬千晃	内科学(消化器・肝臓内科)
肝臓 2008 49・P.553-559	首都圏におけるB型急性肝炎の実態と変遷—Genotype Aに焦点をあてて—	山田典栄	内科学(消化器・肝臓内科)
Progress of Digestive Endoscopy 2008 73・P.111-115	当院における緊急ERCPの現状と問題点 診療ガイドラインとの比較から	中原一有	内科学(消化器・肝臓内科)
アルコールと医学生物学 2009 28・P.6-11	胃食道静脈瘤合併アルコール性肝硬変における硬化療法前後の肝機能の検討	高橋秀明	内科学(消化器・肝臓内科)
World Journal of Gastroenterology 2008 14・P.2702-2714	Transcriptional silencing of dickkopf gene family by CpG island hypermethylation in human gastrointestinal cancer	Maehata T	内科学(消化器・肝臓内科)
Journal of Electrophoresis 2008 52・P.65-69	Divergent roles of tumor suppressor gene Klf6 in ES cell differentiation	Matsumoto N	内科学(消化器・肝臓内科)
Hepatology Research 2009 39・P.31-39	Assessment of hepatic steatosis and hepatic tissue blood flow by xenon computed tomography in nonalcoholic steatohepatitis	Kobayashi M	内科学(消化器・肝臓内科)
東京都医師会雑誌 2008 61(4)P.80~87	日本医師会生涯教育講座(2007/8/23), 慢性腎臓病(CKD)の臨床的インパクトとその意義	木村健二郎	内科学(腎臓・高血圧内科)
Transplantation Proceedings 2008 40 P.1371~1372	Autologous Blood Transfusion for Kidney Transplant Recipients.	佐々木浩代	内科学(腎臓・高血圧内科)
腹膜透析2008(腎と透析65, Suppl) 2008 P.396~398	無尿の血液透析患者に血液透析と腹膜透析の併用療法を導入しQOLが改善した1例。	小坂橋賢一郎	内科学(腎臓・高血圧内科)
大阪透析研究会誌 2008 26(2)P.153~160	【腎移植 最近の話題】腎移植の視点からのCKD。	柴垣有吾	内科学(腎臓・高血圧内科)
日本内科学会雑誌 2008 97(9)P.2198~2208	内科医が知っておくべき救急医療 急性腎不全のマネージメント。	柴垣有吾	内科学(腎臓・高血圧内科)
日本腎臓学会誌 2008 50(7)P.869~874	【腎移植】生体腎移植ドナーの腎提供後腎機能。	柴垣有吾	内科学(腎臓・高血圧内科)
日本腎臓学会誌 2008 50(7)P.948~953	ステロイドパルス療法後に芽粘性性囊胞線腫と重症急性膵炎を合併したANCA関連血管炎の1例。	鶴岡佳代	内科学(腎臓・高血圧内科)
日本腎臓学会誌 2008 50(8)P.997~1010	腎臓専門医の研修単位認定のためのセルフトレーニング問題の正解と解説。	柴垣有吾	内科学(腎臓・高血圧内科)
腎炎症例研究 2009 25,P.75~91	尿所見が乏しく、血清EIA法でGBM抗体陰性の激しい尿細管間質障害を伴う抗GBM抗体型腎炎の1例。	中野信行	内科学(腎臓・高血圧内科)
J Nephrol 2009 22(2) P.224~231	Antiproteinuric effect of olmesartan in patients with IgA nephropathy.	木村健二郎	内科学(腎臓・高血圧内科)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本臨床生理学会雑誌 2008 38(4)P.215-220	Significance and Effectiveness of Health Checkups For the Elderly	Keito Torikai	内科学(総合診療内科)
炎症・再生 2008 28(5)P461-464	脂肪塞栓症候群による急性肺障害に好中球エラスターゼ阻害剤とステロイド剤が有効であった一例	武岡裕文	内科学(総合診療内科)
Mod Rheumatol 2009 19(1):80-83	Treatment of refractory retrobulbar granuloma with rituximab in a patient with ANCA-negative Wegener's granulomatosis: a case report	Ooka S	リウマチ・膠原病・アレルギー内科
Mod Rheumatol. 2009 13:283-292	Lupus antibodies to the HMGB1 chromosomal protein: epitope mapping and association with disease activity.	Hayashi A	リウマチ・膠原病・アレルギー内科
血栓止血誌 2008 19(4):520-539	インヒター保有先天性血友病患者に対する止血治療ガイドライン	田中一郎	外科学(消化器・一般外科)
IOVS 2008 49(8)	Protective Effect of Thioredoxins 1 and 2 in Retinal Ganglion Cells after Optic Nerve Transection and Oxidative Stress	Y.Munemasa	眼科学
Acta Neuropathol 2008 117P75~84	Axonal protection by brain-derived neurotrophic factor associated with CREB phosphorylation in tumor necrosis factor- α -induced optic nerve degeneration	Y.Kitaoka	眼科学
Gene Therapy 2009 1~9	Redox proteins thioredoxin 1 and thioredoxin 2 support retinal ganglion cell survival in experimental glaucoma	Y.Munemasa	眼科学
J.Obstet.Gynaecol.Res. 2008 34(4)p567~573	Expression of melatonin receptor(MT1)and interaction between melatonin and estrogen in endometrial cancer cell line	Mari Watanabe	産婦人科学
Fertil Steril 2008 未定	Exogenous androstenedione induces formation of follicular cysts and premature luteinization of granulosa cells in the ovary.	Okutsu Y	産婦人科学
日本婦人科腫瘍学会雑誌 2009 27(1)p37~41	TCP(Thermoreversible gelation polymer)を用いた感受性試験に基づく婦人科癌化学療法の個別化の試み	小林陽一	産婦人科学
Equilibrium Res 2009 68(1)P.28~33	体性感覚入力が半規管-眼反射に及ぼす影響	三上公志	耳鼻咽喉科学
産婦人科治療 2008 96;増刊 :829-833	【周産期診療プラクティス】新生児 母乳育児を進めるために	堀内勲	小児科学
小児科診療 2008 61(4):749-750	知っておきたい用語の解説 カンガルーケア	堀内勲	小児科学
Journal of Clinical Rehabilitation 2008 17(6):541-544	新生児の適切な治療環境	堀内勲	小児科学
日小血会誌 2008 22(3):173-178	血友病に対する一次定期補充療法の動向	瀧正志	小児科学
日小血会誌 2008 22(4):215-225	小児の血栓性疾患	長江千愛	小児科学
血栓止血誌 2008 19(4):451-455	小児科で遭遇する出血性/血栓性疾患	瀧正志	小児科学
International Immunology 2008 20(10):1299-1311	Altered cellular immunity in transgenic mice with T cell-specific expression of human D4-guanine diphosphate-dissociation inhibitor (D4-GDI).	近藤健介	小児科学
Brain & Development 2008 30:238-244	Effectiveness of lidocaine infusion for status epilepticus in childhood	Yamano T	小児科学
周産期医学 2008 38:507-511	新生児けいれんは圧縮脳波で判読できるか	山本仁	小児科学
脳と発達 2008 40:155-156	小児神経学領域におけるPhenobarbital注射剤の使用実態調査	山本仁	小児科学
脳と発達 2008 40:333-335	Ederavone小児使用例に関する全国調査	山本仁	小児科学
血栓止血誌 2008 19(6):796-805	ヘパリナーゼを用いたヘパリン混入血液のトロンビン生成試験法による凝固能評価の基礎的検討	山下敦己	小児科学
日産婦新生児血会誌 2008 18(1):S71-72	新生児DICの診断と治療:新生児DICの最近の動向	長江千愛	小児科学
Haemophilia 2009 15:78-82	Current situation of regular replacement therapy (prophylaxis) for haemophilia in Japan	M. Taki	小児科学
Brain & Development 2009 31:221-227	Outcome of acute necrotizing encephalopathy in relation to treatment with corticosteroid	Yamamoto H	小児科学

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
脳と発達 2009 41;83-91		山本仁	小児科学
厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業 血友病の治療とその合併症の克服に関する研究 平成20年度 総括・分担	血液凝固異常症のQOLに関する研究	瀧正志	小児科学
厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業 血友病の治療とその合併症の克服	血液凝固異常症のQOLに関する研究	瀧正志	小児科学
厚生労働科学研究費補助金(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業 第Ⅶ、第Ⅷ因子製剤のインビビ	新規血友病患者のデータベース構築によるコホート研究	瀧正志	小児科学
Transplantation Proceedings 2008 40(5) P.3445-3447	ABO Blood Type Incompatible Kidney Transplantation Without Splenectomy Prepared With Plasma Exchange and Rituximab.	力石辰也	腎泌尿器外科学
腎と透析 2008 64(5)P.575-576	「腎臓病センター」がもたらしたもの	力石辰也	腎泌尿器外科学
Transplantation Proceedings 2008 40P.1371-1372	Autologous blood transfusion for kidney transplant recipients	Sasaki H	腎泌尿器外科学
泌尿器外科 2008 21(9)P.1315-1318	前立腺肥大症に対するbipolar-TUR (Gyrus PlasmaKinetic Bipolar System)の使用経験	佐々木秀郎	腎泌尿器外科学
Transplantation Proceedings 2008 40P.3445-3447	ABO blood type incompatible kidney transplantation with out splenectomy prepared with plasma exchange and Rituximab	Chikaraishi T	腎泌尿器外科学
臨床泌尿器科 2009 63(2)165-168	左背部痛および下腹部痛を主訴とした精巣区域梗塞	北島和樹	腎泌尿器外科学
Endocrine Journal 2009 56(1)P79-87	No Ghrelin Response to Oral Glucose in Diabetes Mellitus with Gastroparesis	Asai Shiko	内科学(代謝・内分泌内科)
International Heart Journal 2008 49(4)P.471-480	Relationship Between Sleep-Disordered Breathing Level and Acute Onset Time of Congestive Heart Failure.	Kihei Yoneyama	内科学(循環器内科)
自律神経 2008 45(4)P.143-147	Cardiac Autonomic Nervous Function in Patients with Reversible Ventricular Dysfunction Takotsubo Cardiomyopathy	Yoshihiro Akashi	内科学(循環器内科)
Ann Nucl Med 2008 22P.769-775	123I-BMIPP delayed scintigraphic imaging in patients with chronic heart failure	Keisuke Kida	内科学(循環器内科)
Respirology 2009 14(1)282-289	Bronchoscopy in Japan A survey the Japan Society for Respiratory Endoscopy	Niwa H	内科学(呼吸器・感染症内科)
Respiration Research Clinical Chest Ultrasound From the ICU to the Bronchoscopy Suite	Endobronchial Ultrasound for Difficult Airway Problem	白川妙子	内科学(呼吸器・感染症内科)
Allergy International 2009 58:No3 357-363	Effects of salmeterol and fluticasone propionate combination versus fluticasone propionate on airway function and eosinophilic inflammation in mild asthma.	梶野誠	内科学(呼吸器・感染症内科)
J Bronchol 2009 16(1):15-17	Novel Use of a Disposable Curved Stent Insertion Plastic Device for Silicone Stent Placement in Patients with Limited Neck Extension	宮澤輝臣	内科学(呼吸器・感染症内科)
Journal of Bronchol 2008 Volume 15 228-232	Safety Study of Endobronchial Electrosurgery for Tracheobronchial Lesions	宮澤輝臣	内科学(呼吸器・感染症内科)
Surg Endosc 2008	A new electrocautery pleural biopsy technique using an insulated tript diathermic knife during semirigid pleural biopsy technique using an	宮澤輝臣	内科学(呼吸器・感染症内科)
Radiology 2008 248(3) 1042-9	Y. Airway Dimensions at Inspiratory and Expiratory Multisection CT in Chronic Obstructive Pulmonary Disease.	Matsuo K S	内科学(呼吸器・感染症内科)
Journal Bronchol 2008 15:129-133	The Layer Structure of Central Airways as Described by Endobronchial Ultrasonography (EBUS)	白川妙子	内科学(呼吸器・感染症内科)
J Forensic Leg Med. 2008 15(8)	The need for measures to prevent "solitary deaths" after large earthquakes-based on current conditions following the Great Hanshin-	Fujita Y	内科学(呼吸器・感染症内科)
J Forensic Leg Med. 2008 15(7)	An epidemiological analysis of drunk driving accidents in Kanagawa Prefecture-comparison of 1997-2000 and 2003-2006	Fujita Y	内科学(呼吸器・感染症内科)
臨床神経学 2008 48(11) pp.900-901	<シンボウム1-5>脳血管障害 基礎と臨床の最前線 脳卒中連携医療:新しい脳卒中医療・介護システムの構築	長谷川泰弘	内科学(神経内科)
Journal of the American Academy of Dermatology 2008 58(4)P703-706	Transforming growth factor-beta overexpression in cutaneous extramedullary hematopoiesis of a patient with myelodysplastic syndrome associated with myelofibrosis.	Tamihiro Kawakami	皮膚科学
Arthritis Care & Research	High titer of serum antiphospholipid antibody levels in adult Henoch-Schönlein purpura and cutaneous leukocytoclastic angitis	Tamihiro Kawakami	皮膚科学
Journal of Dermatological Science 2008 51(4):P158-170	Melanocyte precursors express elastin binding protein and elastin-derived peptide (VGVAPE) stimulates their melanogenesis and dendrite formation.	Yoko Kawa	皮膚科学
Journal of Investigative Dermatology 2008 128(5)P1220-1226	BMP-4 upregulates Kit expression in mouse melanoblasts prior to the Kit-dependent cycle of melanogenesis.	Tamihiro Kawakami	皮膚科学
Clinical and Experimental Dermatology 2008 33(5)P415-417	Histopathological evidence of small-vessel vasculitis within the skin and lungs associated with interstitial pneumonia in an adult patient with dermatomyositis.	T. Kawakami	皮膚科学
Clinical and Experimental Dermatology 2008 33(3):P341-342	Common millet anaphylaxis: a case of a bird-keeper sensitized to millet via inhalation, who developed anaphylaxis after oral ingestion.	H. Takahama	皮膚科学
日本臨床皮膚科医会雑誌 2008 25(4)P:14-19	これでOK! 簡単な血管炎	川上民裕	皮膚科学
Archives of Dermatology 2008 P1075-1076	Therapeutic effect of argatroban on rheumatoid vasculitis with antiphosphatidylserine-prothrombin complex antibody.	Tamihiro Kawakami	皮膚科学
Acta Dermato Venereologica 2008 88(5):P517-519	Sweet syndrome subsequent to relapsing polychondritis and myelodysplastic syndrome in a Japanese patient.	Tamihiro Kawakami	皮膚科学
J EADV 2008 22(11):P1400-1401	A fixed drug eruption that developed cross-sensitivity among amide local anaesthetics, including mepivacaine hydrochloride, lidocaine hydrochloride and propitocaine hydrochloride.	Hideto Takahama	皮膚科学

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Annals of Internal Medicine 2008 P911-912(12)149	Remission of hepatitis B virus-related cryoglobulinemic vasculitis with entecavir	Tamihiro Kawakami	皮膚科学
Journal of the American Academy of Dermatology 2009 P146-149(1);60	Drug-induced hypersensitivity syndrome: drug reaction with eosinophilia and systemic symptoms (DRESS) syndrome induced by aspirin treatment of Kawasaki disease	Tamihiro Kawakami	皮膚科学
Archives Dermatology 2009 145(1)P97-98	Limited cutaneous systemic sclerosis induced by paclitaxel in a patient with breast cancer.	Tamihiro Kawakami	皮膚科学
Archives Dermatology 2009 145(2):P171-175	Antiphosphatidylserine-prothrombin complex antibodies in 3 patients with Behçet disease involving superficial vein thrombophlebitis.	Tamihiro Kawakami	皮膚科学
Am Acad Dermatol 2009 60(3);P523-524	Therapeutic effect of mizoribine on bullous pemphigoid associated with membranous nephropathy	Tamihiro Kawakami	皮膚科学
Acta Dermto Venereologica 2009 89(3);P325-326	Cutaneous lichenoid eruption caused by imatinib mesylate in a Japanese patient with chronic myeloid leukaemia	Tamihiro Kawakami	皮膚科学
J Am Acad Dermatol 2009 40 P.3445~3447	Therapeutic effect of Mizoribine on bullous pemphigoid associated with membranous nephropathy.	川上民裕	皮膚科学
AJR Women's Imaging 2008 190P. 234~236	Microcalcifications of Breast Tissue: Appearance on Synchrotron Radiation Imaging with 6- μ m Resolution	Keiko Imamura	放射線医学
Radiation Medicine 2008 26(3)P. 129~132	Vertical Fissure: Computed Tomographic Observation and Correlation with Chest Radiography	Yasuyuki Kurihara	放射線医学
The Breast Journal 2008 14(4)P. 376~378	Desmoid Tumor of the Breast; The Role of Proton Magnetic Resonance Spectroscopy for a Breast Lesion Mimicking a Malignancy	Kyoko Okamoto	放射線医学
Radiation Medicine 2008 26(5)P. 261~269	Computer-aided Detection in Computed Tomography Colonography: Current Status and Problems with Detection of Early Colorectal Cancer	Tsuyoshi Morimoto	放射線医学
肺癌 2008 48(4)P. 312~317	核磁気共鳴画像(MRI)による形態診断	栗原泰之	放射線医学
European Journal of Radiology 2008 67P. 508~513	Nodal Status of Malignant Lymphoma in Pelvic and Retroperitoneal Lymphatic Pathways: Comparison of Integrated PET/CT with or without	Tsuyoshi Morimoto	放射線医学
Radiology 2008 248(3)P. 1042~1049	Airway Dimensions at Inspiratory and Expiratory Multisection CT in Chronic Obstructive Pulmonary Disease: Correlation with Airflow Limitation	Shin Matsuoka	放射線医学
Journal of Medical Case Reports 2008 2(304)P. 1~4	Extrarenal Multiorgan Metastases of Collecting Duct Carcinoma of the Kidney: A Case Series	Hisao Nakamura	放射線医学
日本気管食道化学会会報 2008 59(5)P. 477~485	画像診断機器の進歩—気道 放射線画像による中枢気道の評価	栗原泰之	放射線医学
日本腹部救急医学会雑誌 2008 28(6)P. 775~780	消化管に対するN-butyl-2-cyanoacrylateを用いた経カテーテル的動脈塞栓術の濃度別安全性の組織学的検証	小川普久	放射線医学
Insight 2009 51(1)P. 12~16	Sensitive Inspection of Void Defects Using Synchrotron Refraction Imaging with Quantitative Modelling of Contrast Enhancement	Keiko Imamura	放射線医学
Cardiovascular and Interventional Radiology 2009 24P. 1~8	Development of a New Subclavian Arterial Infusion Chemotherapy Method for Locally or Recurrent advanced Breast Cancer Using an Implanted Catheter-Port System ...	Kenji Takizawa	放射線医学
ペインクリニック 2008 29(5)P689-691	変形性膝関節症に対する骨髄減圧術施行中の骨髄内圧変化	西木戸修	麻酔学
ペインクリニック 2008 29(7)P979-982	経椎間板法による腰部交感神経節ブロックの末梢皮膚温に及ぼす影響—サーモグラフィによる検討—	西木戸修	麻酔学
ペインクリニック 2008 29(9)P1283-1285	Interventional pain management の透視時間・被曝線量の検討	西木戸修	麻酔学
Clinical Ophthalmology 2007 P373-382	Recent Advances in Corneal Regeneration and Possible Application of Embryonic Stem(ES) Cell-Derived Corneal	M. Kayama	免疫学・病害動物学
			計 118 件

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 三宅 良彦
管理担当者氏名	総務部長 薄井隆文、人事部長 松本敏男、事務部長 相沢健男、薬剤部長 増原慶壮、臨床検査部長 信岡祐彦、画像センター長 栗原泰之、看護部長 高橋恵、栄養部長 川島由起子

	保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	事務部、薬剤部、看護部、臨床検査部、画像センター、メディカルサポートセンター	診療記録は平成17年8月から電子化を開始した。診療記録は1患者1カ所方式とし、入院は10年、外来は5年の保存期間を規定としている。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事部
	高度の医療の提供の実績	事務部
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	事務部
	高度の医療の研修の実績	事務部
	閲覧実績	事務部
	紹介患者に対する医療提供の実績	メディカルサポートセンター
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部
確規 保則 の第 9 状 条 の 2 3 及び 第 1 条 の 1 1 各号 に掲 げる 体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理室
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理室
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理室
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	クリニカルエンジニア部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	クリニカルエンジニア部
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	クリニカルエンジニア部		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	クリニカルエンジニア部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 三宅 良彦
閲覧担当者氏名	事務部長 相沢 健男
閲覧の求めに応じる場所	事務部 管理課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	2 件
閲覧者別	医 師	延 件
	歯 科 医 師	延 件
	国	延 1 件
	地方公共団体	延 1 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	47.9 %	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	27,529 人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	14,254 人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	3,076 人	
	D: 初診の患者の数	45,707 人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に 100 を乗じて小数点以下第 1 位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 三宅 良彦
閲覧担当者氏名	事務部長 相沢 健男
閲覧の求めに応じる場所	事務部 管理課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	2件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 1件
	地方公共団体	延 1件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	47.9%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		27,529人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		14,254人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		3,076人
	D：初診の患者の数		45,707人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無																				
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無																				
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無																				
<ul style="list-style-type: none">・ 所属職員： 専任 4 名 (看護師 2 名、事務員 2 名) 兼任 6 名 (医師 4 名、薬剤師 1 名、診療放射線技師 1 名)・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1) 事故防止に関する活動<ul style="list-style-type: none">* 医療安全管理指針の周知徹底* インシデント・アクシデントレポートの集計、分析、改善策の検討・策定・評価、管理* 各部門のリスクマネージャーとの連絡調整* 医療安全に関するマニュアル、手順の作成と更新* 各部門の安全活動状況の把握 (巡視) と指導2) 事故調査に関する活動<ul style="list-style-type: none">* 事故発生時の調査、分析と改善策の検討・策定・評価3) 安全教育・啓蒙活動<ul style="list-style-type: none">* 安全管理に関する教育・研修の企画、運営* 至急回報、e-ラーニング研修の配信* 安全管理に関する会議の運営																					
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無																				
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無																				
<p>医療安全管理指針</p> <table><tr><td>平成 12 年</td><td>4 月</td><td>1 日</td><td>策定</td></tr><tr><td>平成 15 年</td><td>9 月 29 日</td><td></td><td>改正</td></tr><tr><td>平成 16 年</td><td>3 月 1 日</td><td></td><td>改正</td></tr><tr><td>平成 20 年</td><td>2 月 1 日</td><td></td><td>改正</td></tr><tr><td>平成 21 年</td><td>1 月 1 日</td><td></td><td>改正</td></tr></table> <ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">* 基本理念* 用語の定義* 委員会・組織* マニュアルの整備* 職員研修* 報告制度* 医療事故発生時の対応* 患者からの相談への対応* 指針の閲覧および医療従事者と患者との情報共有* 指針の改定		平成 12 年	4 月	1 日	策定	平成 15 年	9 月 29 日		改正	平成 16 年	3 月 1 日		改正	平成 20 年	2 月 1 日		改正	平成 21 年	1 月 1 日		改正
平成 12 年	4 月	1 日	策定																		
平成 15 年	9 月 29 日		改正																		
平成 16 年	3 月 1 日		改正																		
平成 20 年	2 月 1 日		改正																		
平成 21 年	1 月 1 日		改正																		
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況																					

医療安全対策委員会	年13回		
<p>・人員構成： 危機管理担当副院長、医療安全管理室長、医療安全管理者、医療機器安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、感染制御部長を含む 医師11名、看護師2名、薬剤師1名、管理栄養士1名、臨床検査技師1名、事務員1名で構成。</p> <p>・活動の主な内容： 1) 医療安全に係る事項の審議 *医療安全管理に係る基本方針 *リスクマネージャー会議・安全管理室からの提言内容に関すること *医療安全対策の立案・実施に関すること *医療安全推進に関すること</p> <p>2) 事故発生時の対応 *事故報告書（アクシデント・合併症・バリエーション報告書）の確認 *患者・家族、マスコミに対する病院としての対応策の検討</p> <p>3) 医療安全管理室への改善策等の提言</p>			
リスクマネージャー会議	年12回		
<p>・人員構成： 事故防止担当副院長、医療安全管理室長、医療安全管理者を含むリスクマネージャー（医師40人、看護師33人、技術職16人、事務員11人）</p> <p>・活動の主な内容： *当院のインシデント・アクシデント事例の共有 *事故防止の発生要因分析と対策の検討とその評価 *マニュアル、事故防止対策の実施状況および評価</p>			
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年30回		
<p>・研修の主な内容：</p>			
20年度研修内容	開催日	テーマ名・講師	参加者数
1) 第1回職員研修会 (講演会1回目)	5月20日	自動体外除細動器（AED） について (吉田徹一当院救命救急センター・医師)	268名
2) 第1回職員研修会 (講演会2回目)	5月23日	"	206名
3) 第1回職員研修会 (講演会3回目)	6月2日	"	48名
4) 第1回職員研修会 (講演会4回目)	6月4日	"	52名
5) 第1回職員研修会 (各部署リスクマネージャーからの伝達講習)	6月10日 ～ 7月10日	"	355名
6) 第3回職員研修会 (講演1回目)	8月4日	転倒のリスクについて (丸田智子ー当院神経精神科 医師、小曾根基裕ー東京慈恵会 医科大学 精神医学講座講師)	418名
7) 第3回職員研修会	8月15日	"	188名

(講演2回目)			
8) 第3回職員研修会 (講演3回目)	8月20日	〃	177名
9) 第3回職員研修会 (各部署リスクマネージャーからの伝達講習)	8月21日 ～ 9月24日	〃	879名
10) 第5回職員研修会 (講演1回目)	12月16日	医療事故～医療事故被害者家族の望み～ 菅俣弘道－医療事故被害者家族、すがまた整骨院院長	420名
11) 第5回職員研修会 (講演2回目)	1月7日	〃	137名
12) 第5回職員研修会 (講演3回目)	1月16日	〃	155名
13) 第5回職員研修会 (講演4回目)	1月20日	〃	115名
14) 第5回職員研修会 (講演5回目)	1月22日	〃	62名
15) 第5回職員研修会 (各部署リスクマネージャーからの伝達講習)	1月22日 ～ 3月2日	〃	732名
16) 第6回職員研修会 (講演1回目)	2月23日	重大医療事故発生想定訓練 (病院長、リスクマネージャー他)	453名
17) 第6回職員研修会 (講演2回目)	3月3日	〃	181名
18) 第6回職員研修会 (講演3回目)	3月4日	〃	167名
19) 第6回職員研修会 (講演4回目)	3月5日	〃	98名
20) 第6回職員研修会 (講演5回目)	3月9日	〃	153名
21) 第6回職員研修会 (各部署リスクマネージャーからの伝達講習)	3月10日 ～ 4月20日	〃	430名
22) KYT研修会 (上半期)	4月～9月 (合計5回)	KYT実践編	101名
23) KYT研修会 (下半期)	10月～3月 (合計7回)	KYT実践編	83名
24) 研修医対象 医療安全研修会	10月10日	研修医対象 ロールプレイ&分析	57名
25) リスクマネージャー対象 分析手法研修会	11月1日	リスクマネージャー対象 分析手法グループワーク研修	37名
26) リスクマネージャー対象	11月29日	〃	55名

分析手法研修会			
27) 中途入職者研修 (看護部を除く全職員対象)	12月3日、 12月5日	*医療安全管理の基本理念・安全管理指針について*重大事故発生時の対応について*インシデント・アクシデント・合併症レポートシステムについて	14名
28) 第1回e-ラーニング研修 (医師・看護師・薬剤師対象)	9月1日 ～ 9月30日	処方箋の書き方	1285名
29) e-ラーニング補講研修 (平成19年度研修会シール6点未満者対象)	12月15日 ～ 2月15日	重大事故発生時の対応について	691名
30) e-ラーニング補講研修 (平成19年度研修会シール6点未満者対象)再配信	4月13日 ～ 5月30日	重大事故発生時の対応について	22名

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (■有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容: <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療上の事故事例以外の改善策 <ol style="list-style-type: none"> 1) 転倒転落の要因チェックにバランステストを導入し、バランステスト実施ビデオを作製し周知徹底した。 2) 「業務中断カード」の作製。 2. 医療上の事故事例からの改善策 <ol style="list-style-type: none"> 1) 手術開始前のタイムアウトの導入 2) カリウム製剤に「ワンショット静注禁止」タグを付けて薬剤部から払いだし、保管時は「ワンショット静注禁止」カードと一緒に保管する。 3) 経口腸管洗浄剤(ムーベン)と薬方法の改善
--

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<p>・指針の主な内容：「医療関連感染対策指針」を作成し、院内マニュアルである「院内感染防止の手引き（第3版）」の冒頭に掲載している。指針の主な内容は以下の通りである。1. 基本理念、2. 感染管理に係る組織、委員会、3. 職員研修、教育の実施、4. 感染対策マニュアルの整備、5. 医療関連感染サーベイランスの実施、6. 適正抗菌薬療法の推進、7. 職業感染防止、8. 院内感染発生時の対応、9. 患者への情報提供と説明、10. 指針の改訂</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	1年 11回
<p>・活動の主な内容：夏期休暇を除く毎月感染委員会が開催されている。委員長は微生物学教授で、委員は感染制御部、主たる診療科医師、看護部、臨床検査部、薬剤部、病理部、事務（施設、管理、人事など）の職員で構成されている活動の主な内容は以下の通りである。1. 院内感染サーベイランスを含む疫学に関すること。2. 院内感染の発生の要因及び対応に関すること。3. 滅菌及び消毒に関すること。4. 院内感染で注意すべき微生物及びその感染防止に関すること。5. 原因微生物別感染防止対策に関すること。6. 用途別、菌種別消毒薬に関すること。7. 感染症法等で規定された感染症の届出に関すること。8. 感染症報告書に関すること。9. 労働災害上の感染措置、取扱いに関すること。10. 院内感染防止のための検査に関すること。11. 環境微生物検査に関すること。12. 感染性廃棄物の適正処理に関すること。13. 院内感染防止マニュアルの改訂に関すること。14. 病院長からの諮問事項に関すること。15. その他、感染防止に関すること。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	1年 約20回
<p>・研修の主な内容：全職員対象の研修会を毎年2回定例で開催している。それ以外に、新入職員に対する講習、リンクナースを対象にした講習（コース）、初期臨床研修医を対象とした講習、院内清掃業者を対象にした講習などを合計すると年間20程度の講習会を開催している。研修の主な内容は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染の発生要因分析と改善策等の検討及びその評価 2. マニュアル、改善策等の実施状況及び効果の評価 3. 感染防止の推進に関する事項 <p>※平成20年度研修会（全職員対象）内容：「当院職員の麻しんなどのウイルス抗体保有状況について」、「平成19年度針刺し・切創の現状と課題」（以上感染担当者意見交換会）、「HIV感染症」（感染症学術講演会）</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・病院における発生状況の報告等の整備 (有)・無)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「感染症発生報告書」に基づいて行政へ報告を行い、毎月院内向けに集計・報告している。 2. 毎月診療科毎の臨床分離菌の検出状況、薬剤感受性を集計して報告している。 3. 診療科毎の抗菌薬使用状況を集計して報告している。 4. サーベイランスを実施（SSI・針刺し切創など）し、院内講習等で報告している。 <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 抗MRSA薬の使用届出制度（電子カルテによる症例の確認） 2. 細菌検査室からの報告（日報・週報）に基づいて症例毎に助言を行う。 3. ICTによる病棟ラウンド・コンサルテーションの実施 4. 当院のマニュアルである「院内感染防止の手引き」の内容の追加・変更と職員への周知 5. 「感染制御部ニュース」（ニュースレター）の発行 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 11回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p style="padding-left: 40px;">e ラーニング：処方せんの書き方</p> <p style="padding-left: 40px;">病棟単位での講義：麻薬、抗ガン剤、注射の無菌調製 血管外漏出など</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有 無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p style="padding-left: 40px;">年3回、医薬品安全管理に関する定期巡回を実施 その回毎に重点項目を決め、保管状況、期限等を確認する</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：2008年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 疑義照会による処方せん修正時に、薬剤師修正の大判印を押印 ・ インシデント発生時の業務改善 <ul style="list-style-type: none"> 薬品に配置場所、表示の変更 外来患者に薬を渡す際に、患者と一緒に薬品名、数量を確認する 類似名称の薬品に、電子カルテ上、薬効をいれる(薬品追加) 散剤調剤方法を見直し簡素化する。散剤採用薬品の変更 特殊用法薬剤の医師処方時の用法選択限定 	